

目 次

【巻頭言】

- 日本統合医療学会としての合同大会 (IMJ2014) の意義
仁田 新一 …………… 1

【総 説】

- 日本の未来型医療としての統合医療
仁田 新一 …………… 4
- 未来型医療に向けた神奈川県取り組み
—健康寿命の延伸に向けた未病の産業化—
大道 久 …………… 8
- 癌の統合医療
—医療者と患者による創造—
水上 治 …………… 14
- エネルギー療法の基礎と臨床
鈴木 清志・片村 宏 …………… 21
- ヨガ療法におけるエビデンスの構築と問題点
木村 宏輝 …………… 29
- うつ状態、およびうつ病に対するヨガの有用性
岡 孝和 …………… 34
- 生活習慣病に対する臨床的アプローチ
—アディポサイエンスに基づいた経皮吸収アロマセラピーの機序解明—
前田 和久 …………… 38
- 漢方薬の選択方法の考え方
—弁証論治・方証相対・病名漢方療法—
王 宝禮・王 龍三 …………… 44
- 筋・骨格・関節疾患に対する統合医療におけるカイロプラクティック
三輪 健彦 …………… 52
- 多職種連携と生涯教育におけるジャングルカンファレンスの意義
—統合医療カンファレンス協会の取り組み—
小池 弘人 …………… 56

【原 著】

- プライマリケアの視点からの多職種協働統合医療と地域づくり研究 (第1報)
—地域における多職種協働Holistic Health Promotion Program (HHPP) の介護予防効果検証—
吉田 紀子・竹島 良子・儀保 景子・柳田 豊
向井 康子・大迫良代美・福崎 修也・中野 明子
岸 愛光・木村 慧心・西 恵子・是枝 幸雄 …………… 65

●外傷後後遺障害に対する統合医療的アプローチ

— 3年目の報告—

林 紀行・大浦 真一・今井田貴裕・柴田由紀子・石井 友恵
阪上 未紀・坂本 淑子・岩田 昌美・福井 義一・畑 真弘
青木 保典・石井 良平・岩瀬 真生・木村 慧心・伊藤 壽記 …………… 82

●岡田式浄化療法継続施術による関節リウマチ寛解導入療法に関する5施設での研究

大塚 実・牧 美輝・森岡 尚夫・立川 豊吏・蝦名 玄大
野田 英夫・山本このみ・近藤由美子・市川 幸子・森下 博子
佐々木あかね・葛原 俊作・岩間 正洋・川合 晴彦・柳田 富彦
三浦 基和・石黒 裕章・池上 幸一・三輪 恵子・黒田 有加 …………… 89

●災害後後遺症に対する鍼治療の試み

—鍼手技の違いが効果に及ぼす影響—

内藤 由規・伊藤 和憲・阪上 未紀・松本めぐみ
林 紀行・前田 和久・伊藤 壽記 ……………100

●頸椎マニピュレーションの力学的負荷

—スラストの加速度測定による予備研究—

松田 恵造・黒崎 勇人・尾口 修平・森 龍生・竹谷内克彰 ……………106

【報 告】

●統合医療による線維筋痛症の治療経験

班目 健夫 ……………112

●日本における統合医療の臨床実践モデル田舎における統合医療のかたち

—地域医療とヘルスツーリズムの両輪で行う統合医療—

山本 竜隆 ……………118

●在宅歯科医療と統合医療

小木曾義典 ……………124

●ソフトマッサージの授業を通して考える看護

緒方 昭子 ……………129

■投稿規定……………134

■日本統合医療学会認定資格申請要項……………136

■日本統合医療学会認定施設資格申請要項……………138

■日本統合医療学会指導資格申請要項……………139

■編集後記……………140